

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？
今年も早くも梅雨入りしてしまいましたね。6月は、コート施工を行うことが多く、雨天時には施工が出来ないので、最近毎

朝、携帯電話で天気予報を見るのが習慣になっています。天気によってイライラしてしまうので、何とか頭の切り返しを上手にしたいと考えている堀内貢次です。雨天時は、交通事故も多いので、いつもより慎重に運転するように心がけていきたいものです！ (^_^)
それでは、今月もよろしくお願い致します。

「すずらんの群生地」

すずらんというと、北の方で咲いているイメージがあるのですが、山梨の山中湖の現場の帰り道で、すずらんの群生地の標識を発見。思わず行ってきました。芦川村の花で、白樺林の中にスズランが所々で咲いていました。夕方の雨に



濡れたすずらんも何かシットリしていて、仕事の疲れも取れて癒されました。



6月の第一土曜・日曜日にはすずらん祭もあるようで、きっと盛り上がるのでしょう

「玄関出口まで点々と付く床石の油シミ除去」

マンションの引越時に、業者の方が床に養生をしなかったようで、ゴミの袋から油のようなものが点々とエントランスの自動ドアまで続いています。

今回のシミ抜き施工に入るまで、いろいろシミ抜きをしたらしく、シミは完全に抜けないで、石の下地が綺麗に出てしまい返って白く目立ってしまっている部分もあります。

シミ抜きの鉄則は、シミ抜き自体が石の汚れも取ってしまうので、(全体洗浄 + シミ抜き作業) がセットになります。

まずは、シミの部分はシミ抜き剤を塗布して、ラップなどして乾燥しないようにして、シミを抜いていきます。1時間くらい放置後、次にアルカリ洗剤で全体を洗浄していきます。

十分に乾燥後、取りきれないシミ部分へは、再度手直しのシミ抜きをし、全体的に均一にして完了とします。



1. ゴミ袋から点々と出た油シミ



2. シミ抜き剤塗布 + 湿布



3. 全体の洗浄をする



4. 油シミ抜き完了後

「幅3cm以上のシールシミ」

あるマンションの御影石のシール材が表面部分まで3、4cm以上にはみ出てシミになっています。今回、大規模修繕工事の一環でシミ抜き作業に入りました。通常は2回くらいのシミ抜き作業で抜ける所が、4～5回繰り返し、更に漂白作業をして何とか目立たないくらいになりました。



(編集後記) 先日、登山家の憧れのピオレドールを獲得した、花谷泰広さんの講演会に行きました。感動的な話を聞いたら、今年も色々な山に登りたくなりました。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp